

らしんばん



議会報告

令和7年6月議会号



発行日／令和7年7月31日

発行：静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

目次

ハイライト	P1
1. 県議会6月定例会開催(概要説明)	P1
2. 常任委員会(総務委員会)の論戦から	P2
3. 令和7年度静岡県6月補正予算	P2
4. 幸福度に関する県民意識調査の概要	P3
5. 地元有志と県茶業研究センターを視察	P3
6. 南海トラフ巨大地震の防災対策見直し	P4
7. 視察・研修報告、国へ提出される意見書	P4
8. 地域の課題と進捗状況、ホットなつぶやき	P4



外国人材確保のための調査の一環として、海外に進出している昔お世話になつたタイの日系企業を訪問。



富士市大淵に新たに完成した「北里アリーナ」の落成式にて。女子体操日本代表の芦川うらら氏と。



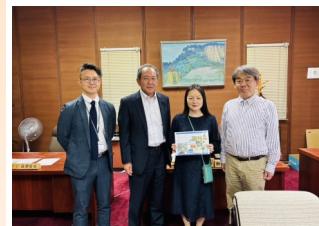
菊川市に誕生した静岡県茶業研究センター落成式。本県茶業振興の重点拠点として整備。



県営富士水泳場で開催された、パラ水泳ワールドシリーズを視察。パラ競技の普及に注目している。



駿河湾カーフェリーは、発着所がJR清水駅の隣接地に移転。利便性の良さと周辺の賑わいに期待。



大学と地方行政との協働に向けた連携が著しい。静岡大学が役員室を訪れ、地元富士市について意見交換。

1. 県議会6月定例会開催(概要説明)

【会期6月18日～7月7日まで】

静岡県議会6月定例会が閉会となり、物価高騰対策を柱とした令和7年度6月補正予算のほか、常任委員会委員長報告、国に対する意見書、議員派遣、常任委員会による閉会中の継続調査の承認など全ての議案が承認されました。

今回は、参議院議員選挙が予定されていたことから、その日程との調整を図り、当初予定よりも前倒しとなりました。

6月補正予算内容は、米国関税措置の影響を受ける中小企業等への支援や、高等学校授業料等の実質無償化に要する経費など、当初予算編成後の事情変化により必要となった経費等の編成についてです。

一般会計補正予算の規模は、30億2,100万円で、これを加えた本年度の予算の累計額は、1兆3,753億2,100万円となりました。

その他の議案は、地方公務員の育児休業法の改正に伴い、部分休業制度の拡充等を行うための条例の改正。公の施設の利用料金の上限額等を改定するための条例の改正。土木工事の請負契約等について。県有財産の取得について。人事委員会委員の選任及び公安委員会委員の任命について同意しました。

文教警察委員会は、審査が定例会中に結論が出ず、閉会後の継続審査となりました。

問題となったのは、「新県立中央図書館の整備」についてで、物価高騰等によりコストが大幅に上昇していることから、一旦立ち止まって整備方針を見直すことになりますが、財源となる国からの交付金に対する見込みが甘く、その対応を巡り通常では考えにくい多額の財源不足に陥り、問題を抱えたまま入札などを行ったことは重大な問題であり、これらについて原因追及を実施しましたが、定例会中では解明が不十分で継続審査となつたものです。

審査では、数日間にわたり、これまでの新県立中央図書館整備に関わる詳細な資料を求め、その内容をつぶさに検証し、矛盾点などの洗い出しが行われましたが、故意か過失かの問題については確認できず、関係者の国とのやりとりや内部での確認作業の甘さなどに対して認め陳謝しているものの、納得がいかない委員の厳しい追及が続いていました。

今年度は、県議会スポーツ文化観光委員会に所属し、党県連幹事長および会派代表に就任

鈴木すみよしブログ 検索





2. 常任委員会(スポーツ文化観光委員会)の論戦から(質問項目概要)

この委員会は、スポーツや文化の振興、富士山に関する総合的な取組、交流人口の拡大を所管する部門を担当しています。

富士山静岡空港に配置されている3台の空港専用特殊消防車の更新について、国産ではまかなえず外国製となります。6億円を超える支出があり更新の理由や設置基準などについて質しました。また、買い替え後の旧消防車の処分は、オークションなどで処理されます。

①生涯スポーツの振興及び競技力の向上。②障害者スポーツセンターの設置に向けた取組。③スポーツコミッショントリニティの取組。④新文化施設（旧ヴァンジ影刻庭園美術館）の利活用。⑤富士山の登山規制。⑥駿河湾カーフェリーの利用促進。⑦富士山静岡空港におけるビジネスジェットの利活用についてそれぞれ質しました。

生涯スポーツは、プロスポーツチームと連携した生涯スポーツの普及や啓発。県民スポーツ・レクリエーション祭等の開催により、誰もが生涯にわたり、スポーツに親しみ、健康増進を推進するためのもので事業の具体的な取組やその意義を県民に広く伝わっているか。

スポーツコミッショントリニティShizuokaについては、県内市町も同様な取組を行っており、県と市町との連携や今後の進め方。

県東部の文化拠点として整備が進む、旧ヴァンジ影刻庭園美術館の利活用は、サウンディング型市場調査や有識者の意見等を踏まえ策定した利活用基本計画に基づき、民間の経営ノウハウや資金を最大限活用可能なコンセッション方式を導入する事に関し、現状について質しました。

富士山の登山規制に関しては、今シーズンから安全な登山や環境整備に関する規制を設けることになり、規制内容となる①富士山の保全、安全登山に係るルール・マナーの事前学習の修了。②午後2時から翌午前3時までの間の入山は、山小屋の宿泊が必要。③入山料（手数料：一人一回4,000円）の納付などについて、その申請のための「富士登山事前登録システム『静岡県FUJI NAVI』」の利用状況の取組について。

駿河湾カーフェリーはコロナ禍以降も事業内容が好転せず、今後の見通しや改善策等について。静岡空港ビジネスジェットの利活用は、新たな空港収入として検討中のもので、事業の進め方について質しました。

3. 令和7年度 静岡県6月補正予算概要

事業名	事業内容	担当課
米国関税措置に係る金融支援関連事業	米国の追加関税措置により、資金繰りに支障が生じる中小企業者の経営の安定を図るために、金融支援を実施する。	商工金融課
米国関税措置に係る中小企業等支援関連事業	米国の追加関税措置に対応するため、中小企業・小規模事業者による輸出先の分散や、コスト削減等の新たな事業展開を支援する。	経営支援課
LPガス料金高騰対策緊急支援事業費助成	エネルギー価格高騰の影響を受けるLPガス利用者の負担軽減を図るために、小売事業者に使用料金の値引き原資を支援する。	エネルギー政策課
特別高圧電力価格高騰対策緊急支援事業費助成	エネルギー価格高騰の影響を受ける事業者の事業継続を支援するため、国の支援の対象外となっている特別高圧契約で受電する中小企業等に対して電気料金の一部を支援する。	エネルギー政策課
高等学校等就学支援関連事業	国の高校等授業料実質無償化を踏まえ、生徒が安心して教育を受けられるよう、授業料に対する負担軽減支援を行う。	高校教育課・私学振興課
高等学校等奨学事業費	家庭の経済状況にかかわらず、高校生等が安心して教育を受けられるよう、授業料以外の教育費に対する負担軽減支援を行う。	高校教育課
産科・小児科医療確保事業費助成	地域でこどもを安心して産み育てることのできる周産期医療体制及び地域の小児医療体制を確保するため、出生数・患者数の減少等を踏まえた産科・小児科を支援する。	地域医療課



4. 幸福度に関する県民意識調査の概要

1. 調査の目的

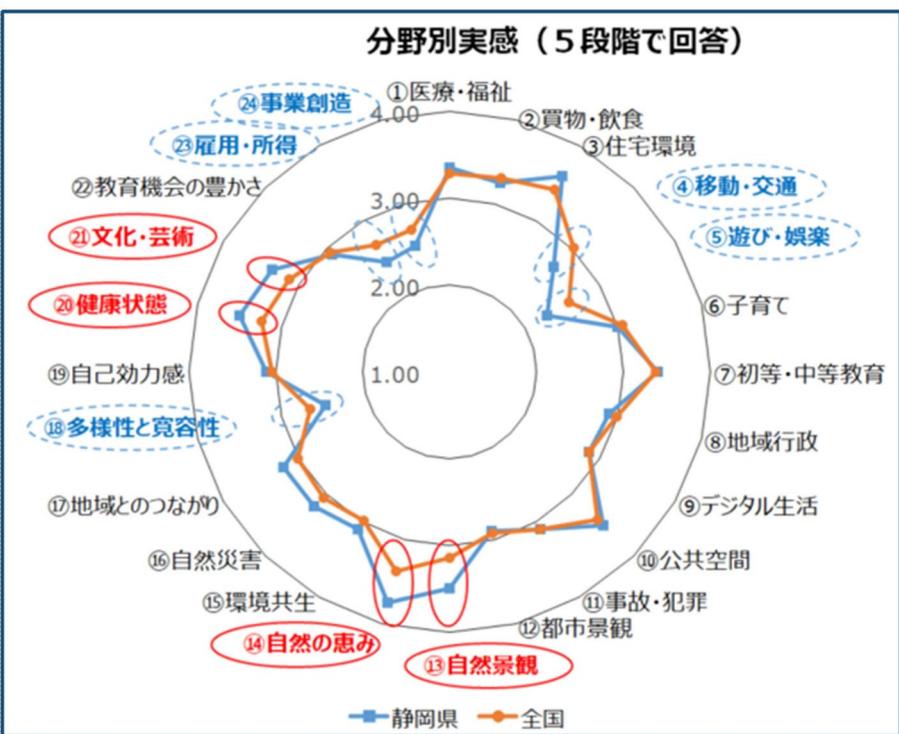
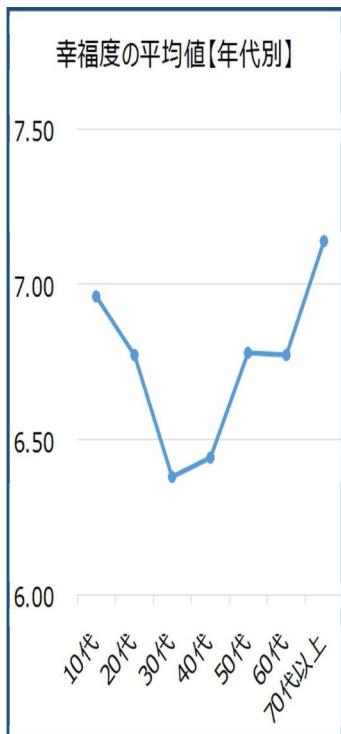
ウェルビーイングの視点を取り入れた県政運営を進めるため、県民の幸福実感を把握

- ・分析する県民意識調査を実施しました。

<調査対象> 県内在住18歳以上の男女（5,000人）※有効回答率：41.6%

2. 調査結果のポイント

- (1) 静岡県民の幸福実感は、全国に比べて高い（静岡県：6.74、全国：6.49）
- (2) 県民の幸福実感は、30代、40代が低い傾向
- (3) 分野別では「自然景観」、「自然の恵み」、「健康状態」、「文化・芸術」が高い



5. 茶業に従事する地元有志と県茶業研究センターを視察



富士市議会議員の有志や市内で茶栽培から加工およびその関連機器に関わる関係者と、菊川市にある静岡県茶業研究センターを訪れ、センター長が直接、施設内を案内し説明する機会に同行させていただきました。



県が果たす役割やその支援体制についてなどの取組について、現場の人たちがどう捉え連携していくのか、いくつかの課題や教訓を得ました。

私の地元にこれだけの顔ぶれが揃っていることに驚き、一堂に会して本県の茶業に関する最先端研究施設の役割やその活用を直に見て共感したことで、地元茶業振興を支える若くて積極的に取り組んでいるメンバーが連携し、今後どのように進展していくのか大変興味があります。参加者と県担当者との熱心な質疑を聞いていても、本気度が伝わってきます。

同研究センターがオープンして約1か月が経ち、多くの視察者が訪れているといい、こだわりのある建物デザインも高評価で、県の新たな茶研究施設は、本来の目的である未来に向けた茶振興の活性化を提供する場として期待したいと思います。

6. 南海トラフ巨大地震の防災対策見直し

政府は南海トラフ巨大地震の「防災対策推進基本計画」の改訂を進めています。

本県は、40年近く前から東海地震の発生が危惧され、防災対策に多くの財源を投入し、ハード・ソフト対策を合わせて、前回までの被害想定に基づく防災・減災対策について、8割減災を達成したとの報告がありますが、今回の新たな想定に基づき、今後の防災対策の見直しを早急に進めていく必要があります。

政府の骨子案では、初動や応急期での「命を守る」対策と、避難生活での災害関連死を防ぐ段階での「命をつなぐ」対策の両面を重要視しています。

事前の対策に費やせる時間には限りがあるとして「特に重要な施策」を選定します。進捗状況は毎年、専門家による確認。災害関連死については「避難所の支援から、人への支援へ」。避難所に加え、車中泊の避難者への支援により災害関連死の養成に努める。同じ被災地で立て続けに起きる「複合災害」の対策の強化。地震発生後の連続して起きる地震への対応。臨時情報発表時の行動指針などが示されています。

本県の場合は、過去の歴史から地震と連動した富士山火山噴火も想定されるので、注視しています。

◆6月議会で決定した国へ提出される意見書

- ①米国による追加関税措置への対策を求める意見書
- ②民泊の健全な経営と指導体制の強化を求める意見書
- ③「1か月児」と「5歳児」健康診査支援事業の充実を求める意見書
- ④養護教諭の複数配置基準の改善を求める意見書
- ⑤性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書

♥ホットなつぶやき

会派の代表になったのが5月19日。県議会6月定例会に向け、代表質問や意見書案などについての準備で忙殺される中、7月3日からの参議院議員選挙への対応など、この短期間でかつてない経験をしてきました。

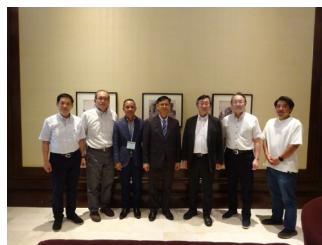
本紙の冒頭、定例会概要でも触れましたが、当初は新県立中央図書館問題は底が見えず、委員会が求める資料について関係部署と直接交渉を進め、解明が進んでいます。

代表者会議、会派役員会、議員総会などの運営が迅速に進行できるよう、今後もしっかりと取り組んでいきます。

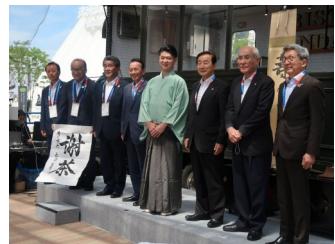
県政相談窓口 ♥お気軽にどうぞ！

地域の課題、道路・河川等の整備等についてのご相談窓口です。ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関と調整しますが、内容に応じてお時間がかかることがありますので、ご容赦下さい。

7. 議会外の視察・研究報告



世界遺産であるカンボジアのアンコールワットの保存と活用について、現地政府関係者からその取り組みを学ぶ。



「県民の歯や口の健康づくり条例」改正に向け、草案を担当する検討委員長として、県内市町長合同会議で説明。



大阪・関西万博の静岡県ブースにて、本県PRのセレモニーに参加。県内茶産地の市・町長が集合し、来場者にPR。

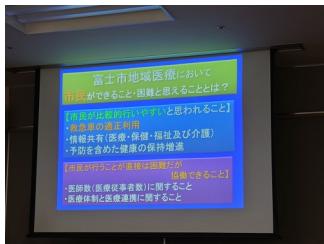
8. 地域の課題と進捗状況（各地の要望等から）



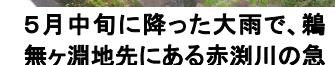
富士市松野地区にある富士川学園付近の県道交差点改良の要望を受けて現地調査。解決に向け課題は多い。



富士市勢子辻地区内を通過する国道469号は、交通事故の恐れがあり、バイパスを建設中。早期完成を期待。



富士市の医療を考える市民の会が発足。第1回勉強会が開催された。市立中央病院の建替を契機に市民が立ち上がる。



5月中旬に降った大雨で、鵜無ヶ淵地先にある赤渕川の急激な増水を確認。現地近くを通りがかった際、遭遇写真。

発行者：静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

「県政相談窓口」および「らしんばん」連絡先

静岡県富士市比奈1418番地の2〒417-0847

☎ 0545-34-0683 FAX.0545-38-0070

メールアドレス himena@tokai.or.jp

ホームページ <http://sumiyoshi.info/>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>



最新の活動情報をブログで配信中。